

2021年度

# 沖縄陸上競技協会審判講習会

## 審判員クリニック（競技規則確認テスト）

[2022年度競技規則修正・明確化 理解度テストを含む]

- ① 回答は〔 〕に記入すること。（記述問題は□に記入すること）
- ② 2021年度日本陸上競技連盟競技規則に基づいて回答すること。
- ③ 「陸上競技ルールブック」と「2021年度審判講習会資料」を参照にしながら解答すること。  
（2021年度修正以外からも出題されている）

氏名

---

所属

---

■正しいものに○、間違っているものに×を記入しなさい。(正しい数字を答えなさい)

- 1 「JAAF」は2019年に名称が「WA」に変更され、日本語略称を「世界陸連」といい、本部は、スイスのローザンヌに置かれている。 [            ]
- 2 最近、9レーンある陸上競技場が増えてきているが沖縄にはまだ9レーンある競技場はない。(規定では2種以上の公認競技場は8または9レーンとなっている) [            ]
- 3 競技会には様々な審判長が任命されているが、スタートを監督するために置かれている審判長を「トラック審判長」という。 [            ]
- 4 トラック審判長は、全てのトラック種目において、審判員がレースの順位に疑義があり順位決定できない場合に限り、これを決定する権限を有する。 [            ]
- 5 出発係は、競技者が所定の組で競争(競歩を含む)に参加しているか、自分のアスリートビブス(ビブス)を正しく着けているかを確認する。 [            ]
- 6 200mの競技において追い風が2.3mとなったので、2mを超える追風の下で記録された追風参考記録となるため非公認記録となった。 [            ]
- 7 転倒や意識混濁等により明らかに通常歩行や競技続行が困難となった競技者に対して、審判員や医療従事者が一時的に介護するために競技者の身体に触れることは、助力とはみなされない。 [            ]
- 8 走り幅跳びにおいて、大会記録を出した選手から今の跳躍の踏切位置を教えて貰いたいと言われ、判定審判員が踏切地点を指し示した。 [            ]
- 9 5000m競技においてA選手は転倒したが、後ろを走っていたB選手から立ち上がることを手助けしてもらった。これは、競技者に対する助力となる。 [            ]
- 10 A選手は4×100mリレーの予選で警告(イエローカード)を与えられ、次の準決勝でも同様に警告(イエローカード)を与えられ、累積により失格(レッドカード)となりチームは失格となった。その日行われる個人種目(走り幅跳び)に出場できるか。 [            ]
- 11 あるフィールド競技で女性27名、男性4人の参加申し込みがあったが、別々に行うのは非効率なので、記録用紙を別々に作成し混合で実施することにした。 [            ]

- 12 スターターは、400mまでの競争において指示は「On your mark」「Set」の言葉を用いる。 [ ]
- 13 投てき種目において、競技開始前の試技場所における練習は、2回である。 [ ]
- 14 棒高跳において、競技が開始されたら競技者は練習目的で「棒高跳用ポール」を使用することはできないが、次の試技準備のために触れることは可能である。 [ ]
- 15 走高跳や走幅跳びにおいて、競技が開始されたら競技者は練習目的で「助走路や踏切場所」を使用してはならない。 [ ]
- 16 アナウンスの際の競技の描写について、フィールド競技よりトラック競技が優先する。 [ ]
- 17 表彰は、原則として成績発表後30分空けて行う。 [ ]
- 18 競技者は、胸と背にはっきりと見えるように2枚のアスリートビブス(ビブス)を付けなければならない。また、切ったり、折ったり、畳んだりしてはならない。 [ ]
- 19 走り幅跳において風向風速計は砂場から20m、助走路から2m以内の位置に設置する。 [ ]
- 20 トラック競技の進行等に関して監察員に支持を与えることができるのはトラック審判長だけである。 [ ]
- 21 フィールド競技において、競技場所に入場し練習後、最初の試技を始める前に出場を断念したため記録用紙に「r」と記載した。 [ ]

最後に

\* 大会運営能力を向上するために、沖縄陸協として・あなた個人としてどのような取り組みをしていけばよいのでしょうか。ご意見を下さい。

---



---



---



---

\* その他意見・要望など

---



---